

第1学年1組 道徳学習指導案

平成18年7月14日(金)

指導者 黄木 洋子

男子21名 女子13名 計34名

1 主題名 アサガオの観察 3--(1)自然愛と動物愛護

2 資料名 アサガオ大きくなあれ

3 主題設定の理由

(1) ねらい

人間の心に安らぎを与えてくれる植物に目を向け、愛する心を身につけさせることは大切である。身近な植物にもやさしい気持ちをもてるような子どもに導いていきたい。進んで自然に親しもうとする心が芽生えることにより、自然や動植物を大切に慈しもうとする気持ちにつながっていくと考える。

(2) 本単元に関する児童の実態

5月にアサガオの種まき、サツマイモの苗植えを行い、子どもたちの栽培活動が始まった。アサガオは、教室のベランダに置いたため目につきやすく、水場も近いため忘れずに水やりをする子どもが多いが、遊ぶ時間がおしくて水やりをしないでしおれかかっている子どもも数名いた。

サツマイモは、アサガオほどいっしょうけんめい水やりをやらなかった子どもたちだったが、2年生が毎朝登校してきてすぐ水やりをやる様子を見て、「ぼくたちもまねしてがんばろう。」という声があがり、今では毎朝水やりをする姿が見られるようになった。ただ、育てきた雑草も抜かず、そのままになっている子どもが多い。アサガオやサツマイモの育て方をみると、ただ水やりをするだけで、植物の成長に関心を持ち、大切に育てているとはいえない段階である。

(3) 資料について

読書の時間に聞いた『ききみみずきん』の話を読み出し、「私もききみずきんが欲しいな。アサガオも何か言っているのかな。」と言った児童のつぶやきをもとに、子どもたちがアサガオの立場になって考えるきっかけづくりをする。

(4) 学校研究との関わり (生活科・道徳)

身の回りの自然(環境)に興味を持ち、積極的にかかわろうとする子ども

植物の成長に伴う変化に関心をもたせる

(生活科)

- 子どもたちは、生き物の世話をしたり、生き物と遊んだりすることが好きである。しかし、生き物の立場から考えたり、行動したりすることは少ない。ともすると自己中心的である。愛情をもってこまめに水やりをする子どももいれば、中には水をやりすぎたり、上からからから乾いて枯れてしまっても平気な子どももいる。そこで、植物の成長に伴うさまざまな変化に関心をもたせることによって、子どもたちは植物の気持ちを考えて行動するようになり「いのち」の尊さに気づくとともに、植物にとってよりよい環境とは何なのかを考えるようになると思う。

秋になって種をとり、根を抜くまで栽培活動を続ける

(生活科)

- 育ててきたアサガオが花を咲かせたときは、成長した喜びを味わうことができる。そして、秋になって種

をとり、根を抜くとき、アサガオに対して「ごくろうさま」という気持ちが生まれてくると考える。さまざまな活動の結晶が種として残り、「来年もまた、きれいな花を咲かせてほしい」と願うとき、子どもたちの生き物の「いのち」を大切にしようという意識がおのずと高まってくると思う。また、一つの花から、次の新しい種ができて「いのち」が連続していく仕組みに感動させることができると考える。

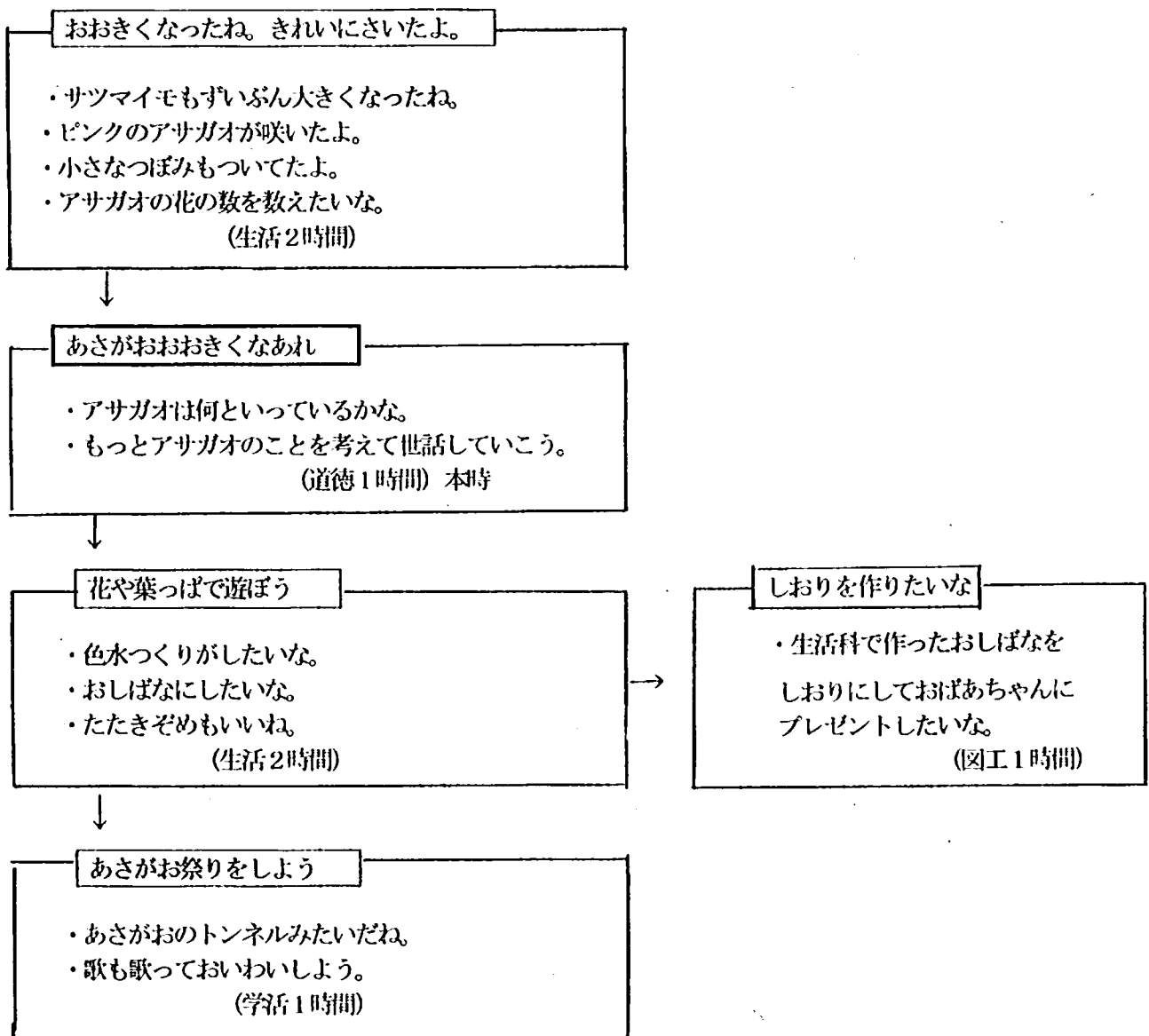
サツマイモを収穫するときも、ただ単に食べておしまいにするのではなく、収穫に感謝することを大切にすることで、「いのち」を大切にすることに気づかせたい。

植物の立場になって考えた子どもの気づきを大切に

(道徳)

・毎日何気なく世話している子が、アサガオの役になって考えることで小さなことにも目をとめ、一層親しみをもって世話ができるようになると思う。

4 授業の展開



※ その他、夏休み中に「アサガオだより」で子どもたちを励ます。

5. 本時の学習

(1) ねらい

身近な自然に親しみ、動植物を愛するやさしい心情を養う。

(2) 本時の学習について

子どもたちは前時まで、生活科でアサガオの様子を観察したり、アサガオの花の数を調べたりして世話を続けてきたアサガオの成長に気づき喜んだ。

本時では、成長したアサガオと対話し、アサガオの願いを知ることにより、これからも大切に世話をしようとするやさしい心情を養っていきたい。

次時は、しぼんで落ちてしまった花でも捨ててしまわないで、「いのち」あるものを最後まで大切にしようとする思いを大切に、生活科でアサガオの色水遊びをする。

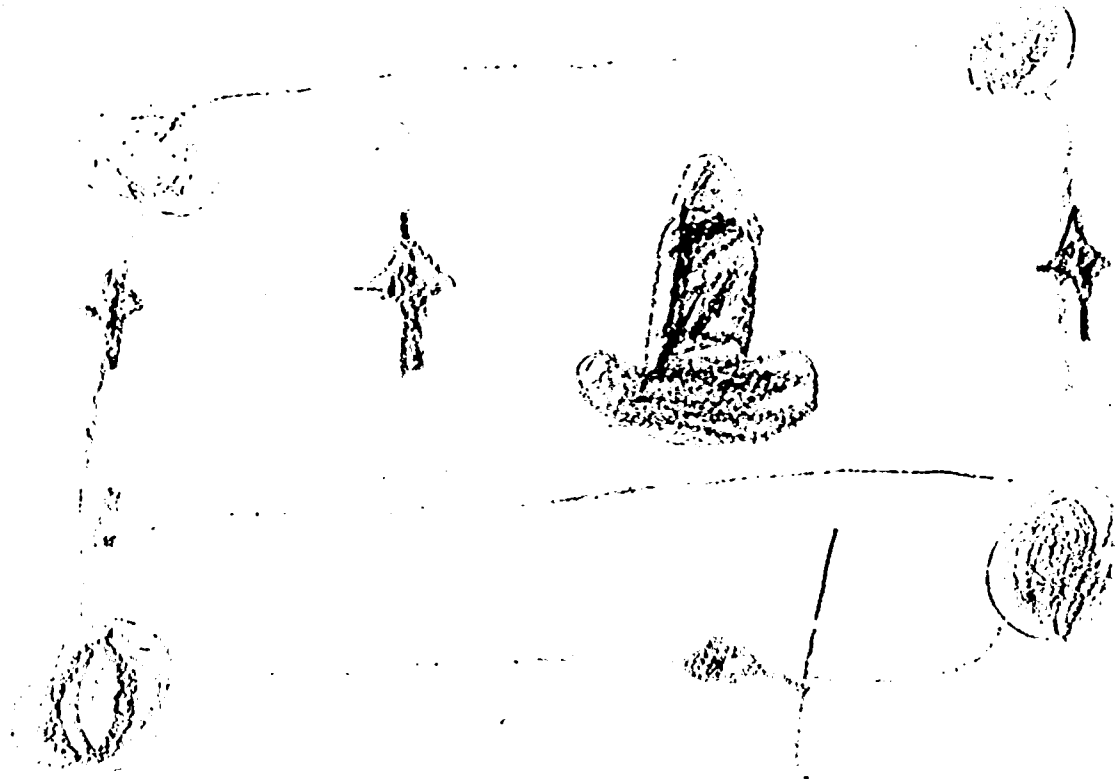
(3) 本時の展開

段階	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	支援と評価
導入	1. 育てているアサガオの生育状態を発表する。	○5月に種をまいたアサガオは、今どのくらいに成長しましたか。 ・ 花が3つさいた。 ・ つるが5cmものびたよ。	○事前に観察カードを振り返らせておく。
展開	2. 友達の観察カードを読んで、アサガオの声を聞いてみたいという願いをもつ。 3. アサガオの声を聞いてみる。 4. アサガオの声を発表する。 5. アサガオの声を聞いてどう思ったか発表する。	○ ・ 私もアサガオさんと話がしてみたいな。 ○「おはなし葉っぱ」でアサガオさんの声を聞いてみよう。 つるがたおれちゃう。 いつもお世話して 助けて。 くれてありがとう。 毎日、水を いっぱい花を咲かせるよ。 飲ませてね。 ○アサガオさん、何とっていましたか。 ○アサガオさんの声を聞いて、どう思いましたか。 ・ アサガオさんも生きているんだね。 ・ これからも水やり忘れないよ。 ・ つるをまきつけてあげるよ。	○葉っぱに耳をあてて、アサガオと心をつなげるよう助言する。 <div style="border: 1px dashed black; height: 40px; width: 100%;"></div>
終末	6. 大切に育てたアサガオで何がしたいか考える。		

あさがお大きくなあれ

おお

1ねん1くみ にしたかきめ



みつけたこと、かんがえたこと

あたしはあさがおが"お"になまえを付け
 ました。それはあさちゃんです。それから、
 あさがおが"お"が"お"あてしているのをみずい
 けしてふれは"いろみず"が"て"ぎ
 ますよ。つくりまますか"あ"ついてもどうぞ。

もしあさがおが"お"あてに"あ"たらあさがおのこえの"あ"さ"たいです。あたらいいですね

5. 本時の学習

(1) めざす子どもの姿

・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することができる子ども。 ・教師と一緒に、友達の発表を聞き取ることができる子ども。

(2) 学級全体の活動の流れとA児の活動の流れ

段階	全体の活動	A児の活動 ●予想される動き	教師の支援(◆)	評価
導入	1. 育てているアサガオの生育状態を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> はじめのあいさつをする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 他児の動きを見てあいさつする。 教師の指示を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ● これから何をするのか分からないでいる。 友達の発表を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ● 意見を発表している人に注目できず、ぼうっとしている。 ● ぼくのは、2つさいたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「Aさん」などと言葉をかけ、学習に向かう気持ちを引き出したい。 ◆ Aさんに言葉をかけたり、ヒントを与えて、考えさせたりする。 ○アサガオが大きく育ってきたね。なぜ大きくなったのかな？ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">友達の発表を聞いたり、関心を持つことができたか。(聞く姿勢、つぶやき)</div>
展開	2. アサガオの声を聞いてみる。	<ul style="list-style-type: none"> 「おはなし葉っぱ」を使って、自分が育てているアサガオの声を聞いてみる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 他児の動きを見て、ベランダに出る。 ● 「おはなし葉っぱ」の意味が分からず、ぼうっと立っている。 ● 緊張して、下を向いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「アサガオとお話してみよう。」などと声をかけたり、教師が例を示したりする。 ※ (他の児童が考える邪魔にならないよう、配慮する。) ※ 的外れな考えでも、認めるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アサガオの気持ちを感じ取ることができたか。</div>
	3. アサガオの声を書き取る。	<ul style="list-style-type: none"> アサガオになって、つぶやく。 <ul style="list-style-type: none"> ● 水をかけてくれて、ありがとう。 ● お花をいっぱい咲かせるからね。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Aさんのつぶやきに応じたり、メモしたりする。 ◆ 「おはなし葉っぱ」に書くよう促したり、書き方を教えたりする。 	
	4. 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ● 周りの人に、「いま何時?」「これ、何色?」などと話し始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 友達の方を向いて聞き、うなずいたり、拍手をしたりするように声をかける。 ◆ Aさんも発表するように促す。 	
終末	5. 発表を聞いて感じたことを話し合う。			
	6. 大切に育てたアサガオで何がしたいか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞いて、これからの活動に期待を持つ。 		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これからも大事に育てようという心情が、高まったか。(つぶやき、発表など)</div>